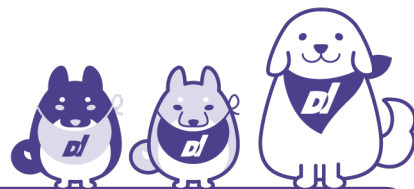




しらいし あつこ

白石 厚子

担当 営業部 お客様係



皆様いかがお過ごしでしょうか？春になると「花粉症」の方が私の周りにも沢山いて、辛そうにされていると「花粉症」になっていない私は理由も無く申し訳無い気持ちになります。

さて、今月のお題「春といえば」ですが、私の実家の畑には倒れてもなお根を張った大きな梅の木がありました。春先になると白い小さな花が咲き、良い香りがしてきました。その頃になると暖かくなり、外で遊ぶ事も多くなりよく梅の木に登って遊んでいました。今思うと「危ないから登るな！」と怒られそうですが、どれだけ高い所まで登れるかが自慢の一つでした。

また、祖母に連れられて、子供たちだけでは行けないような山の中に山菜を採りに出掛けたりしていました。無口だった祖母と二人で出掛ける事がとても特別な事のように感じ、ワクワクして祖母の後ろをついて山の中を歩いていました。

その思い出と一緒に青臭い若葉の匂いを今でも覚えています。朝にうぐいすの声を聞き春になったんだなと思ひ。毎日のように遊んでいた那珂川の水の温みで春を感じ。

子供の頃は五感で春を迎えていました。

大人になり、ふとした所で同じような体験をすると、子供の頃の楽しかった事を思い出します。私にとって春といえば、何も考えずに家族に守られていた幸せな子供の頃を思い出す季節です。